

実施日：令和4年6月13日（月） コマ：1

事業名：道路事業（補助・除雪）

とりまとめ結果：事業内容の一部改善

| | | | |
|------|---------------|-------------|--------|
| 廃止0名 | 事業全体の抜本的な改善0名 | 事業内容の一部改善5名 | 現状通り1名 |
|------|---------------|-------------|--------|

【とりまとめコメント】

- 官民連携により、現場の魅力をさらに上げるため、人の確保に知恵を出していくべき。
- 単位当たりコストはしっかりマネジメントして、具体的に意識をしていくべき。
- 当初予算に対する予備費が非常に大きい、など、予備費を充当すればよいと見えるのは問題。また、積雪と追加予算との関係が不透明。全体としてどのように「省力化」「効率化」が図られているのかが見えず、評価が困難なため、上記を適切に説明するべき。

【外部有識者の主なコメント】

- ・ コストを要する事業の説明責任という観点からも、除雪作業自体の理解を深めるための広報に努力が必要ではないか。
- ・ 官民連携により、現場の魅力をさらに上げるため、人の確保に知恵を出してほしい。
- ・ 単位当たりコストはしっかりマネジメントを行っていることをレビューシートでも表現していくべき。
- ・ 都道府県別のkm単価を公表するなど、ベンチマークによるけん制機能も発揮されたい。
- ・ 当初予算に対し予備費が非常に大きい。「予備費を充当すればよい」という発想ではないと思うものの、そのように見えることは問題。
- ・ 全体としてどのように「省力化」「効率化」が図られているのかが見えず、評価が困難なため、上記を適切に説明する必要がある。
- ・ 積雪予想と当初予算（積雪関連）との関係性および、実際の積雪と追加予算（実施された場合）の関係性が不透明で慎重かつ丁寧な説明が必要。